

# 新盛里山耕流塾

# NEWS もりの里10月号

新盛では、秋の味覚を楽しむことができるようになりました。  
栗や柿のほかに、「へぼ」と呼ばれるクロスズメバチの巣を求めて、蜂を追う姿が見られます。今年の収穫の成果は、どうだったのでしょうか？

ご意見・ご感想はこちらへ  
足助支所地域振興担当 多和田、山田  
TEL: (0565)-62-0601  
E-mail: [asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:asuke-shisho@city.toyota.aichi.jp)

発行: 足助支所 発行日: 平成 21 年 11 月 1 日

10/11 に旬裁食、10/11&17 にもりの里 市民農園、10/12 に里山デザインコース、10/24 にそばづくりが開催されました！

## 旬裁食

とれたて野菜のピザの味は？ の巻

10月11日は、脱穀、芋掘り、ピザづくりを行いました。



午前は、脱穀と野菜の収穫を行い、とれたて野菜でピザづくりを行いました。石窯で調理したピザの味は、とてもおいしかったです。

午後は、サトイモとサツマイモの芋掘りを行いました。

試食した旬の食材

石窯ピザ



## もりの里☆市民農園

もりの里 市民農園 田 初めての収穫の喜び！！ の巻

10月11日と17日で、脱穀を行いました。



10月11日は、石田農園の脱穀を行いました。台風18号の影響ではざが倒れてしまいましたが、大きな被害はありませんでした。

朝から作業を開始し、始めは手探り状態での作業でしたが、次第に慣れてきて、手際良く作業が進み、昼頃に作業が終わりました。

10月17日は、中洞農園の脱穀を行いました。朝から作業を開始しましたが、石田農園の利用者の方も応援に駆けつけ、2時間程度で作業が終わりました。

作業後は、新米のおにぎりをメインに収穫祭を行いました。



台風18号襲来！！

10月7日夜から明け方にかけて台風18号が通過し、強風により、前回の旬裁食で立てたはざが倒れてしまいました。

天気が回復した午後にはもりの里 市民農園の利用者の3組の方が様子を見に来られ、地元の方と協力して、はざを復旧しました。

地元の方と都市の方との“結い”の気持ちがあつたひと時でした。



## 里山デザイン

### 新コース開耕！！ エコでおしゃれな里山暮らしの巻

10月12日は、「マイクロ水力発電講座」の開耕式を行いました。



開耕式のあと、講師の高野先生、岡村氏による講義が行われました。

受講生は、始めは、マイクロ水力発電とは何なのか、とか、自分たちでもできるのだろうか、という不安そうな表情でしたが、講義が進むにつれて理解が深まったようです。

午後は、山田氏の研究発表の後で試作機の説明を受け、実際に会場の扶桑館の前の水路に設置しました。

テスト発電で5Wの電球が灯ったときは、「オー」という歓声が上がり、将来の可能性に希望を持つことができました。



### 視察研修の受け入れ

10月23日、米沢市議会の方が、視察研修会で訪れました。足助支所で事業概要の説明を受けた後で現地に移動し、もりの里 市民農園・畑や旬裁食会場を視察し、交流を深めました。



### 受講生の感想

とにかくやってみることが大事だと思った。実際にマイクロ水力発電機を設置したのを見てみたい。シンプルで小型のものは、一般の人が理解しやすい。マイクロ水力発電機のことを実感できたのが収穫だと思う。電気を起こすということは、普段の暮らしの中ではないことなので、わくわくすると思った。

## そばづくり

### いよいよ収穫！！ 気になる収穫量は？の巻

10月24日は、そばの実の選別が行われました。

午前中は、畦の草刈とそばの実の選別に分かれて作業を行いました。

10月3日に有志の受講生で刈り取ったそばを脱穀し、そばの茎や土とそばの実の選別しました。選別は、地味でとても根気のいる作業で、受講生は、黙々と作業を続けていました。



午後は、引き続き選別作業を行い、土などを取り除きました。収穫量は、受講生全員分のそばの分はあったようです。

また、そばの芽のおひたしを調理して試食しました。

受講生は、12月のそばの試食を楽しみにしていました。

### 農業ファッションショー開催

10月31日、「山野草展とエコでおしゃれな21世紀里山フェスティバルin新盛」が開催されました。

里山耕流塾のパネル展示による紹介や名古屋大学の青山ちひろ氏のプロデュースによる農業ファッションショーを行い、若者がそれぞれの農業ファッションを披露し、地元の方との交流を深めました。

